

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2021年4月2日

事業ID:

事業名: シーバードプロジェクトの推進

団体名: 特定非営利活動法人日本青バイ隊

代表者名: 理事長 野口英親

TEL: 0955-27-0118

事業完了日: 2021年3月20日



事業費総額	: 1,664,316円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	: 44,316円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	: 1,620,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	: 0円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容

1. シーバード設置候補地の視察と発足式への参加

(1) 時期: 2020年4月～2021年3月

(2) 場所: シーバード設置候補地

(3) 対象者: 日本青バイ隊メンバー

(4) 内容: 持続可能な拠点運営に向けた情報提供

2. シーバードジャパン総会、幹事会への参加

(1) 時期: 2020年4月～2021年3月

(2) 場所: 日本財団ビル他

(3) 対象者: 日本青バイ隊メンバー

(4) 内容: 自治体、公務救難機関とのネットワーク構築等、シーバード事業に関するノウハウの共有

■ 事業内容1

(1) 助成契約書記載の事業内容(予定)

1. シーバード設置候補地の視察と発足式への参加

(1) 時期: 2020年4月～2021年3月

(2) 場所: シーバード設置候補地

(3) 対象者: 日本青バイ隊メンバー

(4) 内容: 持続可能な拠点運営に向けた情報提供

(2) 事業完了時の事業内容(実績)

2020年

7月19日シーバード千代田開所式

8月27日シーバード小樽視察

9月2日シーバードにいがたport視察

10月5日新規拠点 新宮と福間視察

11月5日シーバードジャパンjetカレッジ2020西日本で持

続可能な拠点運営の情報提供

11月19日シーバードジャパンjetカレッジ2020東日本で持

続可能な拠点運営の情報提供

2021年

3月19日博多会議新宮、福間持続可能な拠点運営の情

報提供



(3) 成功したこととその要因

シーバード設置候補地の視察と発足式への参加 SB小樽、にいがたport、新拠点のSB新宮、福間へ視察。SB千代田開所式。SB西日本地区とSB東日本へ情報提供ができた。コロナ禍であつてもしっかり対策を立てたことが成功の要因でした。

(4) 失敗したこととその要因

なし

(5) 事業内容詳細

別紙

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.シーバードジャパン総会、幹事会への参加  
 (1)時期:2020年4月~2021年3月  
 (2)場所:日本財団ビル他  
 (3)対象者:日本青バイ隊メンバー  
 (4)内容:自治体、公務救難機関とのネットワーク構築等、シーバード事業に関するノウハウの共有



(2)事業内容の実施(完了)状況

2020年  
 6月9日シーバードジャパン オンライン会議  
 7月27日シーバードジャパン 博多会議  
 9月13日シーバードジャパン 西明石会議  
 9月28日シーバードジャパン 東京会議  
 9月29日シーバードジャパン 新潟会議  
 10月5日シーバードジャパン 博多会議  
 11月5日シーバードジャパン jetカレッジ2020西日本で海上保安部とネットワーク構築、シーバード事業に関するノウハウの共有  
 11月19日シーバードジャパン jetカレッジ2020東日本で海上保安部とネットワーク構築シーバード事業に関するノウハウの共有  
 12月3日オリンピック警備局とセーリング警戒会議(一部オンライン)晴海  
 12月8日門司第七管区海上保安部で海上安全指導員会議ネットワーク構築シーバード事業に関するノウハウの共有

(3)成功したこととその要因

対面での会議ができなかったときはオンライン会議を開催することとして対応した。西日本地区、東日本地区で海上保安庁と第七管区、第九管区海上保安部とネットワーク構築、シーバード事業に関するノウハウの共有ができた

(4)失敗したこととその要因

なし

(5)事業内容詳細

別紙

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- 1.SB拠点との意見交換
- 2.SB拠点開所式へすべて参加する
- 3.シーバードジャパン総会、幹事会へすべて参加する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	121	文字数チェック	OK
SB拠点との意見交換・・・西日本地区と東日本地区で活発な意見交換ができた。 SB拠点開所式へ全て参加する・・・シーバードびわこワニ浜は佐賀県が県をまたぐ行動制限が出たので断念した。 シーバードジャパン 幹事会等の会議には全て参加した。			

### 3.事業実施によって得られた成果

一年延期になったオリンピックに向け湘南ラインの拠点で協力できる体制ができた。  
ボートショーにおいてシーバードの拠点が力を合わせて棧橋等の警戒、体験乗船海の警戒を関東地区  
シーバードが協力し合う体制が出来てきた。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応策

2020年に取り掛かった新たな海上安全安全指導員制度に向けjetカレッジを開催したが内容が把握出来ていない拠点がある、  
また県境を超えない要請で受講できない拠点もあるので2021年も続けて開催する対応をとりたい。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

シーバードプロジェクトの推進



#### (2)事業完了時の成果物名称

シーバードプロジェクトの推進

オリンピックの警戒、ボートショーでの警戒で注目を集める各拠点でもそれぞれ地域の実情に合わせた活動を行なっている。また海上保安庁と一緒に海の安全活動を行っていききたいとの思いがとても強く出た2020なので地域になくてはならないシーバード、日本になくてはならないシーバードに推進していきたいし、出来ると考えている。

#### (3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra\\_gui\\_01-1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf) (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。